



国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

記者発表資料	平成23年 9月30日解禁
配 布 日	

■同時発表先：岡山県政記者クラブ
倉敷市記者クラブ

高梁川水系小田川付替事業の環境影響評価 の方法について専門家のご意見を伺います。 ～第2回小田川付替事業環境影響評価技術検討委員会を開催～

国土交通省中国地方整備局は、河川法第16条の2に基づき策定された高梁川水系河川整備計画に位置付けられた高梁川水系小田川付替事業について、環境影響評価法に基づき、環境影響評価の手続きを進めています。

中国地方整備局では、小田川付替事業の事業特性、地域特性を踏まえ、最新の科学的知見に基づく適切な環境影響評価を実施するために専門家で構成される『小田川付替事業環境影響評価技術検討委員会』を設立(平成23年8月31日)し、環境影響評価の手續にかかる各段階において技術的助言を求めることとしています。

今般、[第2回の委員会を下記のとおり開催することとしました](#)のでお知らせします。

記

◆第2回 小田川付替事業環境影響評価技術検討委員会

議題：環境影響評価方法書について(調査、予測及び評価の手法の選定)

日時：平成23年10月6日(木) 14:00～16:00(13:45開場)

場所：マービーふれあいセンター 1階展示室

倉敷市真備町箭田 40番地 1 TEL086-698-9111

※委員会は公開ですが、傍聴者席の座席数に限りがあり先着順となりますのでご了承ください。また、カメラ撮りは冒頭のみ(議事開始まで)といたします。

◆添付資料

別紙1 委員名簿

別紙2 小田川付替事業の概要

参 考 委員会会場位置図

(問合せ先)

国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所 電話番号(086)223-5101(代表)

副 所 長 植田 憲治(うえだ けんじ) (内線205)

事業対策官 湯浅 丈司(ゆあさ じょうじ) (内線208)

別紙 1 小田川付替事業環境影響評価技術検討委員会 委員名簿

氏 名	所属・役職	担当分野
うちだ かずこ 内田 和子	岡山大学大学院 社会文化科学研究科 教授	景観、人と自然との触れ合いの活動の場
おくしま ゆういち 奥島 雄一	倉敷市立自然史博物館 学芸員	陸上昆虫類
[委員長] かわら おさみ 河原 長美	岡山大学大学院環境学研究科 教授	水質、底生動物、廃棄物等
ささおか えいじ 笹岡 英司	元岡山大学大学院 環境学研究科 教授	大気質、騒音、振動
さとう くにやす 佐藤 國康	元川崎医科大学 教授	哺乳類、爬虫類、両生類、魚類
[副委員長] にしがき まこと 西垣 誠	岡山大学大学院環境学研究科 教授	地下水、地形及び地質、地盤沈下
はだ よしお 波田 善夫	岡山理科大学 学長	植物
まるやま けんじ 丸山 健司	日本野鳥の会 岡山県支部 支部長	鳥類

(敬称略 五十音順)

別紙2 小田川付替事業の概要

小田川付替事業の目的等

1. 事業の目的

小田川付替事業は、高梁川の支川である小田川について高梁川との合流位置を下流に付替え、高梁川流域内で人口、資産が集中する倉敷市街地区間に位置する高梁川酒津地先の、及び過去幾多の甚大な被害が生じている小田川合流点付近の洪水時の水位低下を図ることを目的とする。

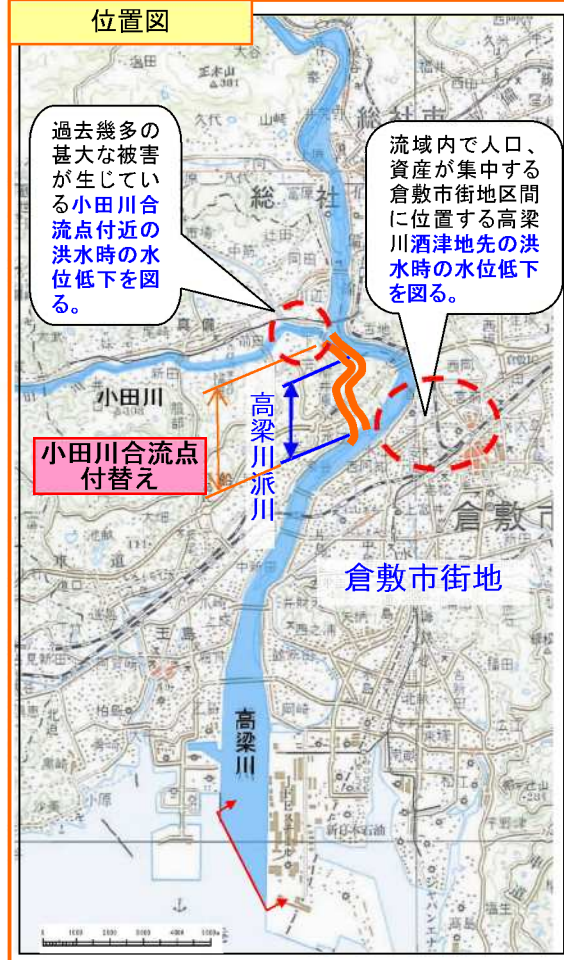
2. 事業の種類

国土交通省中国地方整備局が行う放水路の新築の事業

3. 事業の規模

土地の形状を変更する面積:約107ヘクタール

位置図

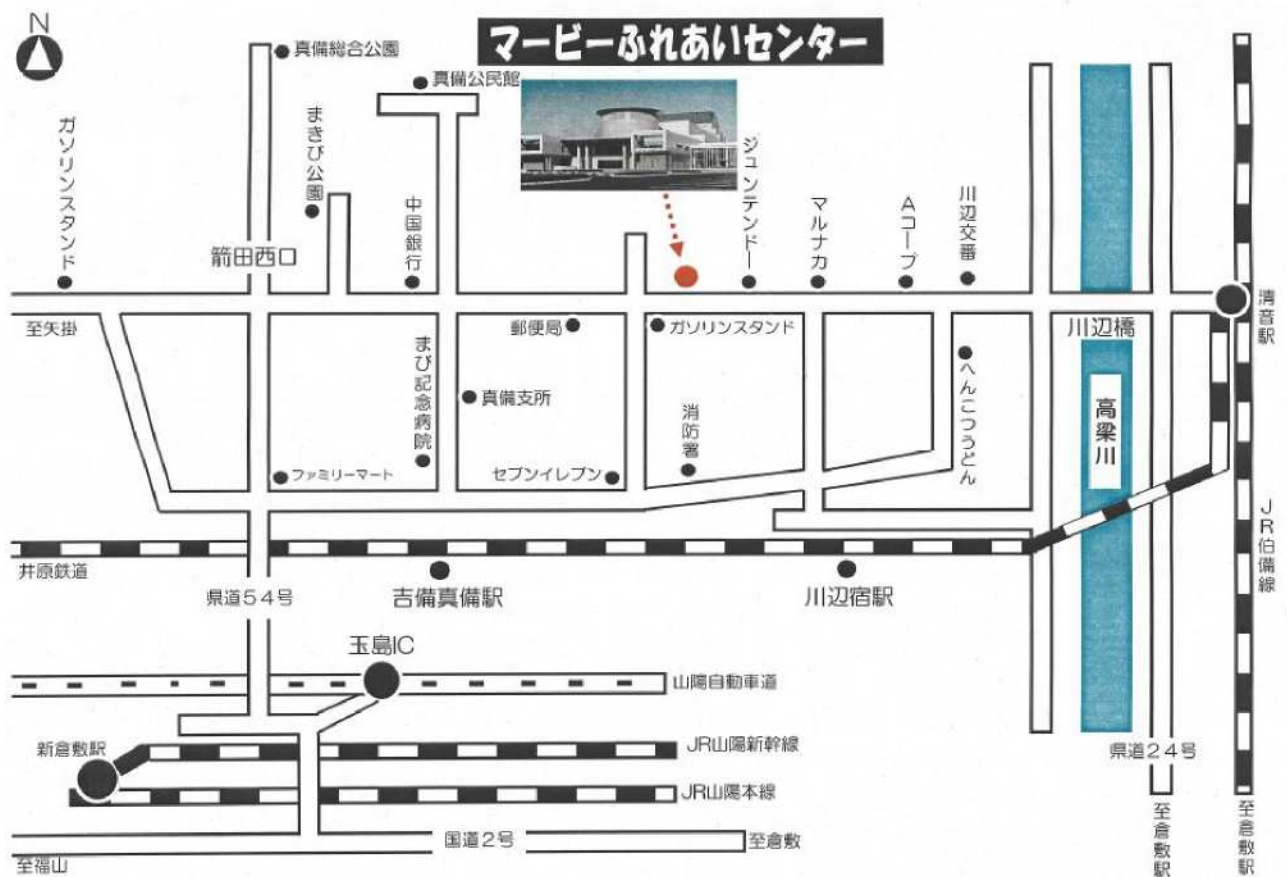


小田川付替事業イメージ



<参考>

- 「第2回小田川付替事業環境影響評価技術検討委員会」会場
マービーふれあいセンターアクセス
(マービーふれあいセンターホームページより)



- JR清音駅から車で10分 (約4km)
- JR倉敷駅から車で25分 (約13km)
- JR新倉敷駅から車で15分 (約10km)
- 井原鉄道 吉備真備駅下車 徒歩15分(約1km)
- 山陽自動車道 玉島ICより車で約15分(約9km)

※450台の無料駐車場があります。